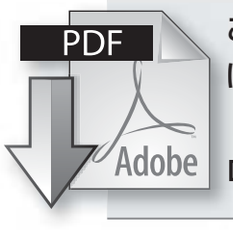
保証書 580
取り扱い上の注意点 581
許容誤差 582
型番一覧表 584
略語と記号 586
月齢表 587
ラバーストラップ 588
フォールディングクラスプ 589
真正性の証明 590
防水性/ ねじ込み式リューズとプッシュボタン 591
時刻のセット（概要） 592



この取扱説明書のPDF バージョンは、ロンジンのインターネットサイト（www.longines.jp）よりダウンロードいただけます。

自動巻きウォッチ

L607, L636 594
L602, L693 595
L635 – 24 タイムゾーン 596
L704.2, L704.3 598
L633 – Diver Date 599
L614 / L699 – The Lindbergh Hour Angle Watch 600
L699 – The Longines Weems Second-Setting Watch 602
L600 – ムーンフェイズ 603
L697, L698 – 3X/4X レトログラード 604
L707 – 4X レトログラード 605

クロノグラフ

概要 608

クォーツ・クロノグラフ

L538, L541 609

自動巻きクロノグラフ

L650, L651 611
L667, L674 612
L683, L688 – コラムホイール 613
L688 – バーニア、L696 614
L705 615
L788 – Single Push-Piece Chronograph 615
L678 – ムーンフェイズ 616

この度は、スイスの名門ロンジンをお選びいただき、誠にありがとうございます。この時計技術の傑作は、末永くお客様のお役に立つことを確信いたします。時計製造にあたっては、最新の技術を駆使して販売前に品質検査を行なっております。

お客様のLONGINES® 時計については、お買い上げの日から24ヶ月間は、本保証書に規定する条件により、Longines Watch Co, Francillon Ltd* が保証いたします。

この国際LONGINES 保証は、お買い上げになったLONGINES時計がお客様に引き渡された当時すでに存在していた材料上及び製造上の欠陥（以下単に「欠陥」という場合はかかる意味での欠陥をいいます）を対象とします。この保証は、ロンジンの正規特約店が、本保証書に、日付その他の事項を漏れることなく正確に記入したうえ捺印した場合に、はじめて有効となります（以下かかる条件を満たした保証書を「有効な保証書」といいます）。

お客様は、保証期間中は有効な保証書を提示することにより、全ての欠陥について無料で修理を受けることができます。お客さまのLONGINES時計を正常に使用できる状態に修理するのが適当でない場合は、Longines Watch Co, Francillon Ltd が、同一ないし同種のLONGINES時計との交換を保証いたします。交換後の時計に対する保証は、交換前の時計のお買い上げの日から24ヶ月間とします。

製造者の保証は以下の場合はカバーいたしません。

- バッテリーの持続。
- 通常使用による摩耗や老朽化（例：クリスタル部分の引っ掻き傷。革、織物、ゴムなどの非金属製ストラップおよびチェーンの変色・変質。メッキ部分の剥がれ）。
- 異常な使用、乱用、不注意、過失、事故（打撃、陥没、衝突、ガラス破損等）、間違った使い方、Longines Watch Co, Francillon Ltd が指示した使用方法を守らなかったことに起因する時計の損傷。
- LONGINES 時計の使用、機能不全、欠陥、不正確性などから派生するあらゆる間接的・派生的損害。
- LONGINES時計のバッテリー交換、アフターサービス、修理等について権限を与えられていない者に行わせた場合。Longines Watch Co, Francillon Ltdの管理が及ばないところで時計の基の状態に変更を加えている場合。

Longines Watch Co, Francillon Ltd に対するその他の請求、例えば上記の保証に加えて損害賠償等の請求をなされましても、お買い上げ主が製造者に対して強行法規上の権利を有している場合を除いて、それらの請求は保証の対象外となります。

左記の製造者保証は、

- 販売店が行う保証とは別個独立の保証であり、販売店の保証については、販売店が一切の責任を負うことになっています。

上記の製造者保証は、販売店に対するお買い上げ主としての権利、またはその他のお買い上げ主が販売店に対して有するあらゆる強行法規上の権利に影響を及ぼすものではありません。

お客様のLONGINES®時計のメンテナンスにつきましては、Longines Watch Co, Francillon Ltdのカスタマーサービスが完璧に行います。万が一お客様の時計に問題が生じた場合は、同封したリストに記載されている、正規LONGINES特約店又はLONGINES指定サービスセンターにご相談いただければ、Longines Watch Co, Francillon Ltdの基準にしたがったサービスをお約束いたします。

重要：

地域の諸要件を遵守するため、本製品にはオーストラリア/ニュージーランドを対象とした保証が備わっています。このため、本製品に含まれる国際保証は、オーストラリアおよびニュージーランドのお客様には適用されません。本製品のオーストラリア/ニュージーランド保証に関しては、スウォッチグループ・カスタマーケア（*customer.service@swatchgroup.com.au*または+61 3 8844 3300）にお問い合わせください。

* Longines Watch Co, Francillon Ltd,
CH-2610 Saint-Imier, Switzerland.

LONGINES® は登録商標です。

点検 / メンテナンス：

どのくらいの頻度で点検を行えばよいのでしょうか？

時計の防水機能の点検は1年おきに行うことをお薦めいたします（ムーブメントの点検を含む部分的メンテナンス）。

どのくらいの頻度で時計のメンテナンスを受けたらよいのでしょうか？

他の精密機器と同様に、時計の精度を確保するためには定期的にメンテナンスを受ける必要があります。メンテナンスの頻度については、ご使用いただいているモデル、使用者の居住地域の気候、日常のお取り扱い方法によって異なりますので一概に申し上げることはできません。ご使用環境にもよりますが、一般的には4～5年ごとにメンテナンスを受けることをお勧めしています。

時計のメンテナンスやバッテリー交換はどこに依頼したらよいのでしょうか？

ロンジン正規代理店または取扱店でメンテナンスを受けることをお勧めします。ロンジン・ウォッチに関し、専門的な修理や検査を行うためのツールを有しているのは、ロンジン正規代理店または取扱店のみです。専門家だけが、ロンジンが定めた厳しい品質基準を満たすように時計を調整できます。

購入したロンジン・ウォッチを長く使い続けるには、どのような点に注意すればよいでしょうか？

磁場：時計をスピーカーや冷蔵庫に近づけないでください。これらの製品は磁場を作り出しており、時計にダメージを与えることがあります。

海水：海で泳いだ後は、かならず時計を真水で洗い流してください。

衝撃：時計に急激な温度変化などの衝撃を与えないでください。

ねじ込み式リューズ：内部機構に水が侵入しないように、常にリューズは完全にねじ込んだ状態にしておいてください。

押し込み式リューズ：内部機構に水が侵入しないように、常にリューズは元の位置に戻しておいてください。

クリーニング：歯ブラシと石鹸水を使用して、金属製ブレスレットおよび防水ケースを洗ってください。その後、やわらかい布で水分を拭き取ってから乾かしてください。

化学薬品：溶剤、洗剤、香水、化粧品などに直接触れないようにしてください。これらはブレスレット、ストラップ、ケース、パッキン部分にダメージを与える可能性があります。

温度：時計を極端な高温または低温（60˚C または140˚F以上、0 ˚Cまたは32 ˚F以下）に曝さないでください。また、急激な温度変化を避けてください。

防水性：防水性は永続的なものではありません。摩耗またはリューズへの偶発的な衝撃によってパッキン部分が損なわれることがあります。メンテナンスに関する注意事項で推奨されているように、時計の防水機能についてはロンジン正規代理店で年1回の検査をお受けください。

クロノグラフのプッシュボタン：水中ではプッシュボタンは使用しないでください。内部機構に水が侵入することがあります。

許容誤差 / 巻上げ

機械式ムーブメント

機械式ムーブメントの精度は、ユーザーの生活習慣によって異なります。ロンジン・ウォッチの多くは、日差−5〜+15秒の範囲の精度を保持しています。

巻上げ（リューズは完全に押し込まれた状態）

腕の動きによりロンジン・ウォッチは自然に巻き上げられ、数10時間のパワーリザーブを蓄えることができます**(584-585ページの型番一覧表を参照)**。数日間時計を使わなかった場合のみ、手動で巻き上げてください。

手動による巻上げ：時計を1日以上身につけない場合、リューズをポジション**1**の位置で手動で巻き上げてください。

クォーツ・ムーブメント

周辺環境の温度がクォーツ・ムーブメントの精度に影響します。日差は−0.3〜+0.5秒の範囲です。

クォーツ時計の場合、電池が動力源です。リチウム電池でない場合は、寿命は1年から1年半です。ロンジンにはE.O.L.（電池寿命予告）機能を持つ時計もございます。電池がなくなりそうになると、秒針が4秒ごとにジャンプします。こうなりましたら、ただちにバッテリーを交換してください。寿命切れの電池をそのままにしておくと、機械によくありません。

寿命がきたクォーツ時計のリサイクルと取扱について*

クォーツ ウォッチのみに対応

この記号は、本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることにより、あなたは、環境及び人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

** EU加盟国及びこれに対応する法律がある国に適用されます。*

電池の交換

ロンジン指定のサービスセンターまたは正規販売店にお問い合わせください。電池交換に必要な専用の設備や道具を取りそろえております。電池がなくなるとムーブメントに支障をきたす場合があるため、できるだけ早く交換してください。

電池の種類

ボタン型酸化銀亜鉛電池。

*** 3針以上および日付表示を備えたキャリバーのみ。その他のキャリバーについては、592-593ページをご覧ください。**

Ref.	キャリバー*	コレクション	パワーリザーブ	ページ
L2.503.	L600	The Longines Master Collection	42時間	603
L2.601.	L614	The Lindbergh Hour Angle Watch	42時間	600
L2.629.	L651	The Longines Master Collection	42時間	611
L2.631.	L635	The Longines Master Collection	38時間	596
L2.643.	L650	Longines evidenza	42時間	611
L2.648.	L607	The Longines Master Collection	42時間	594
L2.666.	L693	The Longines Master Collection	48時間	595
L2.669.	L651	The Longines Master Collection	42時間	611
L2.673.	L678	The Longines Master Collection	48時間	616
L2.678.	L699	The Lindbergh Hour Angle Watch	46時間	600
L2.693.	L696	The Longines Master Collection	46時間	614
L2.708.	L602	The Longines Master Collection	42時間	595
L2.713.	L699	The Longines Weems Second-Setting Watch	46時間	602
L2.714.	L697	The Longines Master Collection	46時間	604
L2.715.	L698	The Longines Master Collection	46時間	604
L2.716.	L697	The Longines Master Collection	46時間	604
L2.717.	L698	The Longines Master Collection	46時間	604
L2.718.	L704.2	The Longines Master Collection	48時間	598
L2.730.	L705	Longines Lindbergh’s Atlantic Voyage Watch	46時間	615
L2.733.	L688	The Longines Column-Wheel Chronograph	54時間	613
L2.738.	L707	The Longines Master Collection	46時間	605
L2.739.	L707	The Longines Master Collection	46時間	605
L2.742.	L688	The Longines Column-Wheel Chronograph	54時間	613
L2.743.	L688	Conquest	54時間	613
L2.744.	L688	Conquest	54時間	613
L2.745.	L683	Longines Heritage 1951	48時間	613
L2.747.	L674	Longines Heritage 1954	48時間	612
L2.749.	L688	The Longines Column-Wheel Chronograph	54時間	613

時計のリファレンス番号は、ケースバックに刻印されています。

*** 3針以上および日付表示を備えたキャリバーのみ。その他のキャリバーについては、592-593ページをご覧ください。**

Ref.	キャリバー*	コレクション	パワーリザーブ	ページ
L2.750.	L688	The Longines Column-Wheel Chronograph	54時間	613
L2.751.	L704.3	Longines Twenty-Four Hours	48時間	598
L2.752.	L688	The Longines Saint-Imier Collection	54時間	613
L2.753.	L688	The Longines Saint-Imier Collection	54時間	613
L2.755.	L636	The Longines Master Collection	38時間	594
L2.759.	L688	The Longines Master Collection	54時間	613
L2.764.	L707	The Longines Saint-Imier Collection	46時間	605
L2.768.	L688	Longines Heritage 1942	54時間	613
L2.773.	L678	The Longines Master Collection	48時間	616
L2.774.	L788	The Longines Column-Wheel Single Push-Piece Chronograph 180th Anniversary	54時間	615
L2.775.	L788	The Longines Column-Wheel Single Push-Piece Chronograph 180th Anniversary	54時間	615
L2.776.	L788	The Longines Column-Wheel Single Push-Piece Chronograph 180th Anniversary	54時間	615
L2.779.	L788	The Longines Avigation Watch Type A-7	54時間	615
L2.780.	L688	The Longines Telemeter Chronograph	54時間	613
L2.781.	L688	The Longines Tachymeter Chronograph	54時間	613
L3.279.	L538	Conquest	クォーツ	609
L3.643.	L541	HydroConquest	クォーツ	609
L3.644.	L667	HydroConquest	48時間	612
L3.660.	L541	Conquest	クォーツ	609
L3.674.	L633-Diver	The Longines Legend Diver Watch	38時間	599
L3.687.	L704.2	Conquest	48時間	598
L4.754.	L688-バーニア	The Longines Column-Wheel Chronograph Record	54時間	614
L4.796.	L683	Flagship Heritage	48時間	613
L4.797.	L698	Longines Heritage Retrograde	46時間	604
L4.799.	L636	Flagship	38時間	594
L4.803.	L688	Flagship	54時間	613

時計のリファレンス番号は、ケースバックに刻印されています。

Cal.	キャリバー
Ref.	リファレンス
E.O.L	バッテリー寿命通知機能
	ラグ幅
CITES	ワシントン条約（絶滅の恐れのある野生動植物の国際取引に関する条約）
	シースルーケースバック
	カバー付きシースルーケースバック
	ねじ込み式ケースバック
	ねじ込み式リューズ
	シングルプッシュボタンリューズ
	回転ベゼル
TACHY	タキメーター
	修正ポイント
CASE	トップヴェッセルトン VVSダイヤモンドの数とカラット数
DIAL	トップヴェッセルトン VSまたはSIダイヤモンドの数とカラット数
MOP	マザーオブパールダイヤル
LUM	スーパールミノバ
	ディプロイメント バックル

ムーブメント

QUARTZ	クォーツ
	自動巻き
	コラムホイール ムーブメント
	手巻き

防水性

3 bar	3気圧（30m）防水*
5 bar	5気圧（50m）防水*
10 bar	10気圧（100m）防水*
30 bar	30気圧（300m）防水*

** 防水性のメートル値は、ISO 2281 の規格に従い、水圧に相当する単位で示しています。*

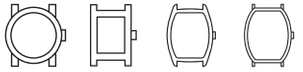
ケース素材

ST STEEL	ステンレス スティール
18K 750	18K ゴールド
PVD	PVD
STEEL PVD	ステンレス スティール/PVD
STEEL 18K	ステンレス スティール/18K ゴールド
STEEL CERAMIC	ステンレス スティール / セラミック
PL G 10 M	PL GE

ガラス

H	高品質PMMA（ポリメチル・メタクリレート）
M	ミネラルガラス
S	サファイアクリスタル
S	サファイアクリスタル、内側に単層の反射防止加工
S	サファイアクリスタル、内側に多層の反射防止加工

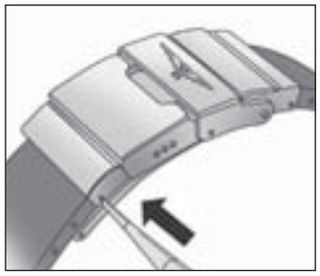
ケースサイズ



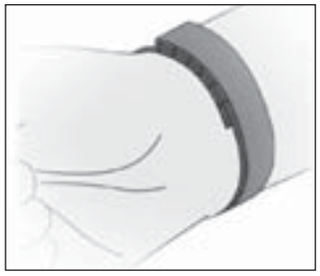
（mm）

	新月 ●	上弦 ☽	満月 ○	下弦 ☾
2013	12月 13 日 2012	12月 20 日 2012	12月 28 日 2012	1月 5 日 2013
	1月 11 日	1月 18 日	1月 27 日	2月 3 日
	2月 10 日	2月 17 日	2月 25 日	3月 4 日
	3月 11 日	3月 19 日	3月 27 日	4月 3 日
	4月 10 日	4月 18 日	4月 25 日	5月 2 日
	5月 10 日	5月 18 日	5月 25 日	5月 31 日
	6月 8 日	6月 16 日	6月 23 日	6月 30 日
	7月 8 日	7月 16 日	7月 22 日	7月 29 日
	8月 6 日	8月 14 日	8月 21 日	8月 28 日
	9月 5 日	9月 12 日	9月 19 日	9月 27 日
	10月 5 日	10月 11 日	10月 18 日	10月 26 日
	11月 3 日	11月 10 日	11月 17 日	11月 25 日
	12月 3 日	12月 9 日	12月 17 日	12月 25 日
2014	1月 1 日 2014	1月 8 日 2014	1月 16 日 2014	1月 24 日 2014
	1月 30 日	2月 6 日	2月 14 日	2月 22 日
	3月 1 日	3月 8 日	3月 16 日	3月 24 日
	3月 30 日	4月 7 日	4月 15 日	4月 22 日
	4月 29 日	5月 7 日	5月 14 日	5月 21 日
	5月 28 日	6月 5 日	6月 13 日	6月 19 日
	6月 27 日	7月 5 日	7月 12 日	7月 19 日
	7月 26 日	8月 4 日	8月 10 日	8月 17 日
	8月 25 日	9月 2 日	9月 9 日	9月 16 日
	9月 24 日	10月 1 日	10月 8 日	10月 15 日
	10月 23 日	10月 31 日	11月 6 日	11月 14 日
	11月 22 日	11月 29 日	12月 6 日	12月 14 日
2015	12月 22 日 2014	12月 28 日 2014	1月 5 日 2015	1月 13 日 2015
	1月 20 日	1月 27 日	2月 3 日	2月 12 日
	2月 18 日	2月 25 日	3月 5 日	3月 13 日
	3月 20 日	3月 27 日	4月 4 日	4月 12 日
	4月 18 日	4月 25 日	5月 4 日	5月 11 日
	5月 18 日	5月 25 日	6月 2 日	6月 9 日
	6月 16 日	6月 24 日	7月 2 日	7月 8 日
	7月 16 日	7月 24 日	7月 31 日	8月 7 日
	8月 14 日	8月 22 日	8月 29 日	9月 5 日
	9月 13 日	9月 21 日	9月 28 日	10月 4 日
	10月 13 日	10月 20 日	10月 27 日	11月 3 日
	11月 11 日	11月 19 日	11月 25 日	12月 3 日
2016	12月 11 日 2015	12月 18 日 2015	12月 25 日 2015	1月 2 日 2016
	1月 10 日	1月 16 日	1月 24 日	2月 1 日
	2月 8 日	2月 15 日	2月 22 日	3月 1 日
	3月 9 日	3月 15 日	3月 23 日	3月 31 日

- 優れた耐水性と耐劣化性
- 卓越した機械的特性
- 過酷な環境下での抜群の耐久性
- 比類無い「ソフト」な装着感としなやかさ
- 高度な技術
- ハイクオリティー
- 手作業による仕上げ

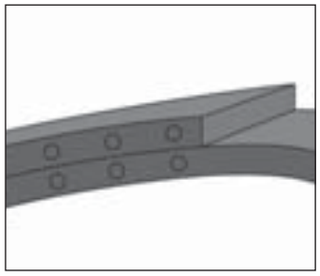


1. バネ棒を押しながら、バックルの2つのカバーを取り外します。



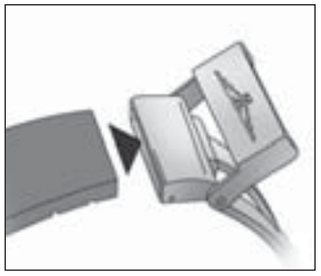
2. 手首の周りにストラップを巻き付けて、手首のサイズを計ります。重なった部分の穴の数の半数より、お客様のサイズに合ったストラップの長さが決まります。

例：*重なった穴の数の半数が偶数の場合：たとえば8穴の半分で4になる場合、ストラップのそれぞれの側から2穴分を取り除きます。*
重なった穴の数の半数が奇数の場合：たとえば14穴の半分で7になる場合、12時側のストラップから4穴分、6時側のストラップから3穴分を取り除きます。

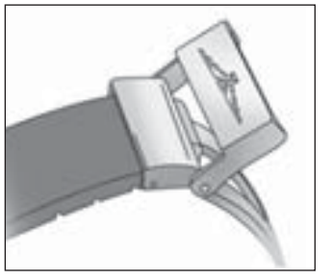


3. 目盛りに沿ってストラップをカットしてください。

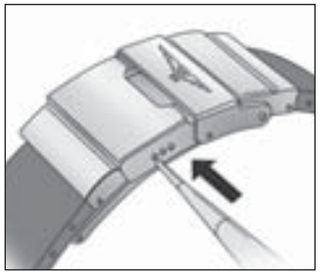
4. 2つのバネ棒をラバーストラップに通してください。



5. 目盛りの入った面を手首の側に向けてストラップをバックルに取り付けます。バックルの穴の中にバネ棒を戻します。



6. 装着感を確認してみてください。



7. 長さを微調整するには、カバー部分の3つの穴の最もフィットする穴にバネ棒を移動させてください。

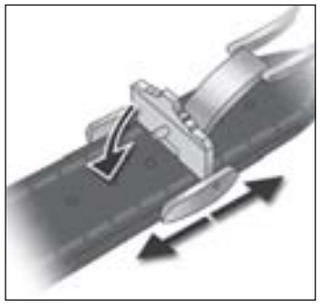
ストラップが長すぎる場合は、さらに1目盛りカットしてください。

お手持ちのストラップの長さの調節は、ロンジン正規代理店に依頼されることをお勧めいたします。

ラバーストラップは定期的に、特に内側を念入りに、石鹸水で洗っていただくようお勧めいたします。

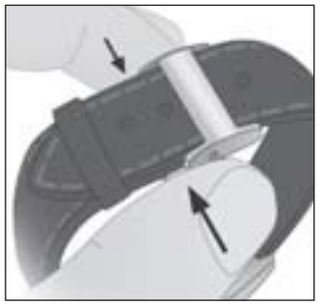
クラスプの調節

1. 長い方のストラップの穴からピンを外し、アジャスターを取り外します。



2. ストラップに沿ってアジャスターをスライドさせ、お好みの穴にピンを入れて固定します。

クラスプを開く



3. クラスプを開くには、両側面のプッシュボタンを同時に押します。

4. クラスプを開くと、ストラップを長くしたり、腕から外すことができます。

クラスプを閉じる

5. ストラップを手首にあて、固定したスモールバックルを通して、スライドします。

6. フォールディングクラスプを正しい位置まで閉じると、カチッという音がします。必要に応じて、長い方のストラップを固定されていないスモールバックルに通してスライドさせてください。

ロンジンでは、ダイヤモンドを最上の美を体現するものとして丁重に扱っています。

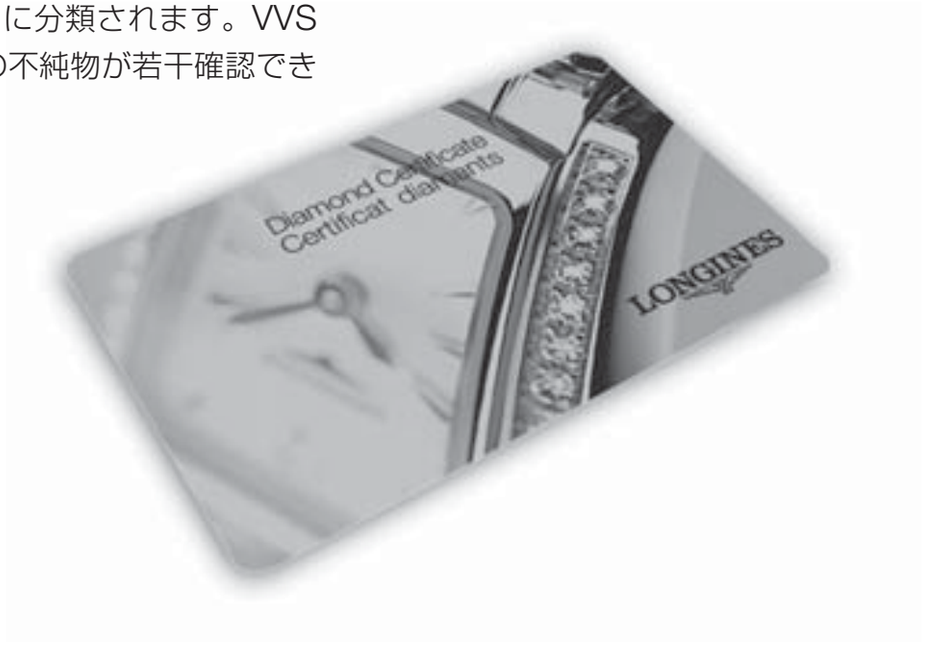
この証明書は、ロンジンの熟練した技術者により選別されたダイヤモンドの高い品質を保証するものです。

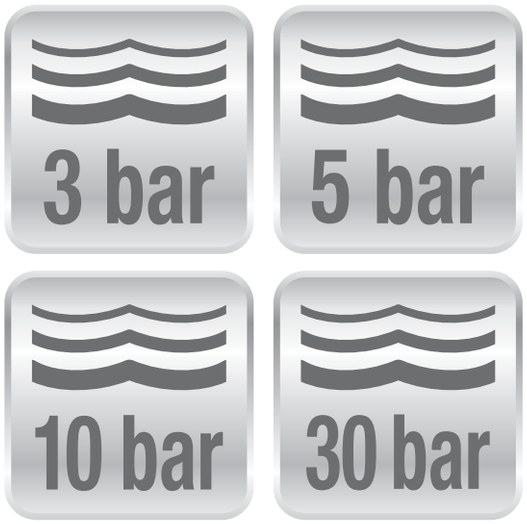
カット：ロンジンのダイヤモンドは伝統的なブリリアントカットを採用しています。

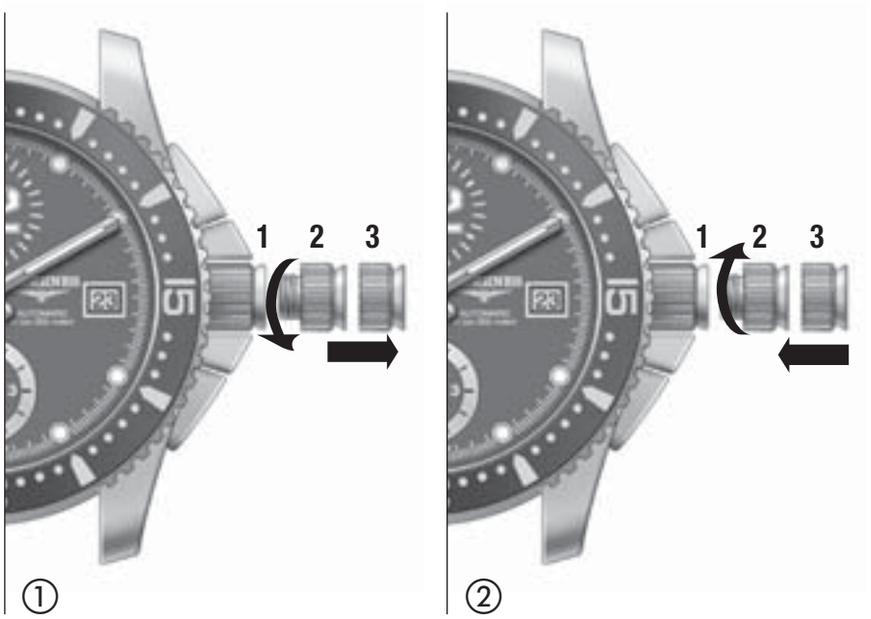
透明度：ロンジンのダイヤモンドの透明度はVVS（ベリー・ベリー・スモール・インクルージョン）に分類されます。VVSとは10倍に拡大した場合、ごく微量の不純物が若干確認できる状態です。

カラー：ロンジンのダイヤモンドのカラーはトップヴェッセルトンです。

カラット：ダイヤモンドの重さはカラットで表されます。1カラットは5分の1グラムに相当します。







防水性に関する注意事項

お買い上げいただいた時計は防水機能を備えていますが、毎年シーズン前に時計の防水性を点検してください。気付かないうちに、衝撃などによって防水機能が低下している場合があるからです。

いかなる理由でもケースを開けた場合は、ガラスやケースバックのパッキン部分、リューズ、プッシュボタンを点検し、必要に応じて部品を交換する必要があります。

ねじ込み式リューズとプッシュボタン

モデルによってはねじ込み式リューズが採用されています。これを操作する場合は、反時計回りに回して緩める必要があります（図 ①）。

操作終了後、まずリューズをポジション**2**の位置に戻します。次にリューズをポジション**1**の位置に押し戻し、ケースと防水パッキンが完全に密着するようしっかりと締めてください（図 ②）。

重要：リューズは常に奥まで押し込み、ケースと防水パッキンが完全に密着するようしっかりと締めてください。湿度の高い場所ではリューズの操作は絶対に行わないでください。

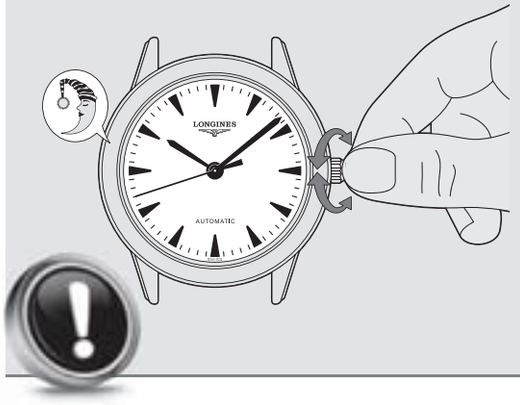
時針および分針を持つモデル

リューズの2つのポジション

584-585ページの型番一覧表に表示されていないものも含め、すべての時計に共通します。

時刻のセット

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。リューズをどちらかの方向に回して針を調節します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

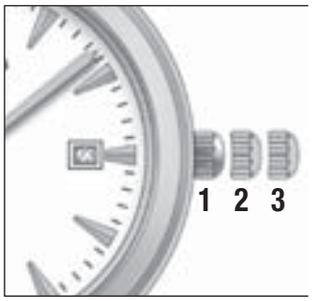


自動巻きウォッチの場合、長期にわたり使用していない状態が続いたあとは、手動で巻上げる必要があります。

時針、分針、および日付表示を持つモデル

リューズの3つのポジション

584-585ページの型番一覧表に表示されていないものも含め、すべての時計に共通します。



時刻のセット

リューズをポジション**3**の位置まで引き出します。リューズをどちらかの方向に回して針を調節します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

日付のクイック修正（標準）

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。
リューズを手前**（時計回り）**に回して日付を修正します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

午後8時から午前3時の間は日付の修正を行うことはできません。

時針、分針、秒針および日付表示を持つモデル

リューズの3つのポジション

584-585ページの型番一覧表に表示されていないものも含め、すべての時計に共通します。

時刻のセットと秒針の停止（標準）

時計の時刻を電話やテレビ、ラジオの時報が伝える時刻に合わせるには、リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、秒針が60を指した時点で時報に合わせてリューズを元の位置（ポジション**1**）に戻します。時計の時刻が午前0時を過ぎると、その都度日付も変わります。

日付のクイック修正（標準）

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。
リューズを手前**（時計回り）**に回して日付を修正します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

パワーリザーブ表示

モデルによっては、パワーリザーブ表示を備えているものがあります（キャリバーL602、L693、L697）

時計をまったく、あるいは稀にしか使用していない場合、針は次第に反時計回りに動いていきます。パワーリザーブが4分の1以下になったら、時計が停止しないように手動で巻き上げを行うか、腕につけておいてください。

時計が完全に巻き上げられると、パワーリザーブ表示の針は時計回りに動きます。

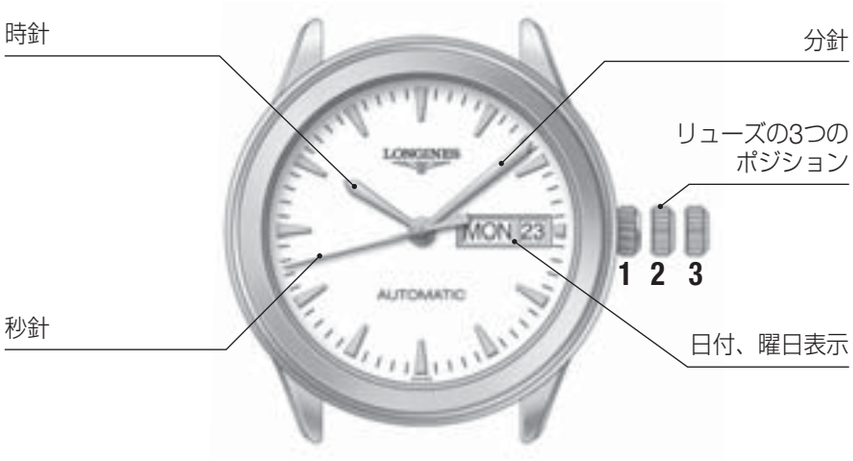
L607

時、分、秒、日付表示を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
（593ページ参照）



L636

時、分、秒、日付、曜日表示を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付と曜日の修正
リューズを中間のポジション**2**の位置まで引き出します。日付を修正する場合はリューズを**手前**（時計回り）に回し、曜日を修正する場合はリューズを**向こう側**に回し、その後リューズを完全に押し込みます（ポジション**1**の位置）。31日未満の月は、月末に日付の修正を行ってください。

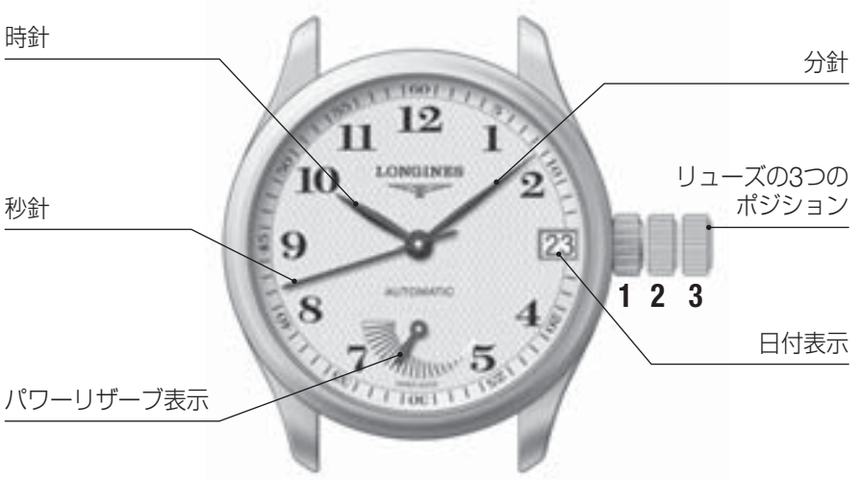
L602

時、分、秒、日付、パワーリザーブ表示を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
(593ページ参照)

日付のクイック修正
(593ページ参照)



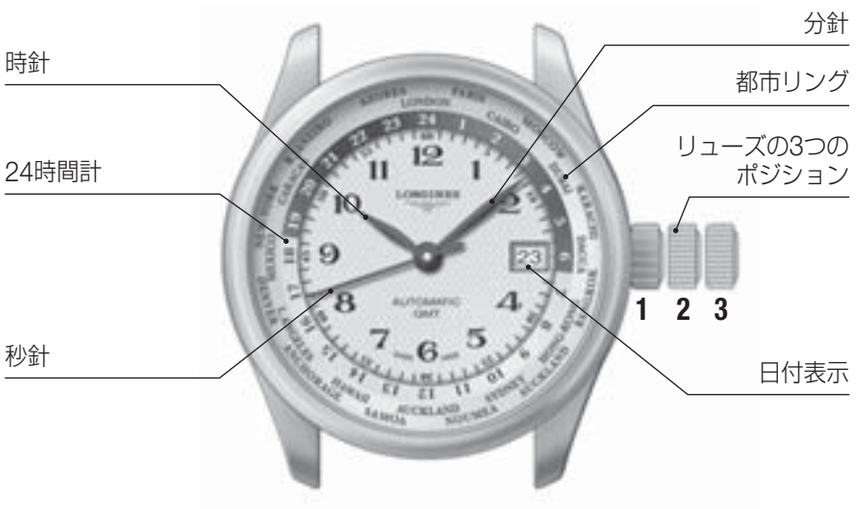
L693

時、分、秒、日付、パワーリザーブ表示を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
(593ページ参照)

日付のクイック修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。合わせたい日付が表示されるまでリューズを**手前**に回します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。



L635
24 タイムゾーン

時、分、秒、日付表示、24タイムゾーン（ロンジン特許no. 02266/92-3）を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

リューズをポジション**3**の位置まで引き出すと、秒針が止まります。リューズを回して時間を合わせます。リューズを回すと、24時間計も同時に回転します。時刻を電話やテレビ、ラジオの時報が伝える時刻に合わせてリューズを元の位置（ポジション**1**）に戻します。

タイムゾーンと日付の修正

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。リューズをいずれかの方向に回します。分針、秒針に影響を与えることなく、時針を**1**時間単位で調節することができます。

時針を修正する際に時計の時刻が午前0時を過ぎると、日付が自動的に変更されます。これは、リューズを回している方向によって、翌日または前日になります。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

ロンジン・ウォッチの使用方法
24 タイムゾーン・ウォッチ

リューズをポジション**3**の位置まで引き出します。秒針が自動的に停止します。
リューズをいずれかの方向に回して、現在自分がいる場所の時間帯の都市名に、24時間計に表示されている現地時間（冬時間）を合わせます。
リューズをポジション**2**の位置まで戻し、時針が現地時間を示すように設定します。この時、日付が午前0時に変更されることに注意してください。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。
これによって、24時間計にはユニバーサルタイムが、針によって現地時間が表示されるようになります。

例：2月23日、パリ、GMT（ロンドン）は12時位置にあり、針は10時8分を示しています。24時間計では、数字の10がパリの正面にきています。

旅行時の使用方法

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。

時針を現在自分がいる場所の時間帯に合うように修正します（図を参照）。

リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

国によってサマータイム制度が導入されています。その場合も、同じ手順で時刻修正を行います。

例：2月23日、東京、GMT（ロンドン）は12時位置にあり、針は18時8分を示しています。24時間計では、数字の10がパリの正面にきています。これによって、パリの現在時刻が午前10時8分であることがわかります。

L704.2
24 時間、第2時間帯

時、分、秒、日付、第2時間帯表示を備えています。

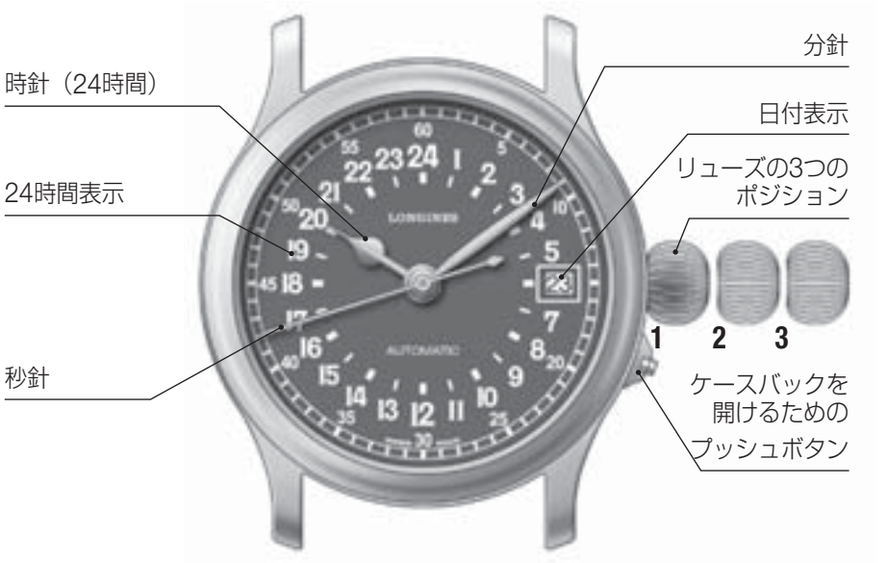
リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。合わせたい日付が表示されるまでリューズを**手前**に回します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

旅行時に第2時間帯（24時間針）の時刻を修正する

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。リューズを**向こう側に**回して、24時間針が今いる場所の時間帯を示すように修正します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。



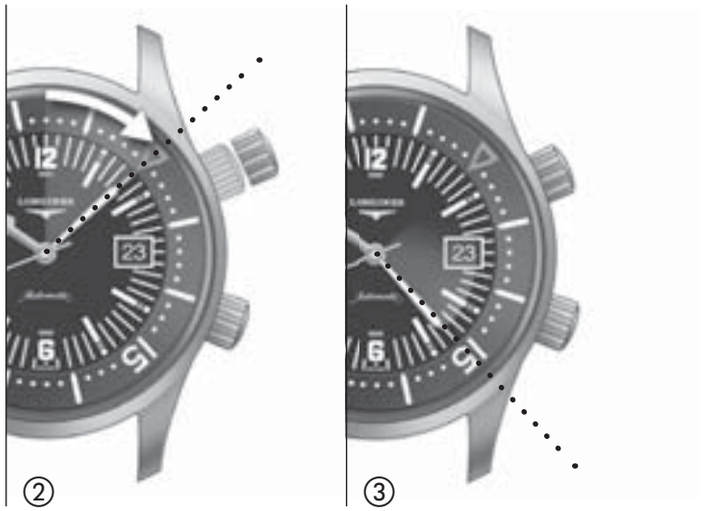
L704.3
Longines Twenty-Four Hours

時、分、秒、日付表示を備えています。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。合わせたい日付が表示されるまでリューズを**手前**に回します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。



L633-Diver
Date

お買い上げいただきました **Longines Legend Diver Watch** には、それぞれ独自の機能をもつ Ⓐ および DIVER の2つのリューズが装備されています（図①）。

時、分、秒を表示し、潜水時間を計る機能を備えています。

リューズ Ⓐ の3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

リューズ Ⓐ をポジション**3**の位置まで引き出すと、秒針が止まります。リューズを回して時間を合わせます。リューズを回すと、24時間計も同時に回転します。時刻を電話やテレビ、ラジオの時報が伝える時刻に合わせてリューズ Ⓐ を元の位置（ポジション**1**）に戻します。

日付の修正

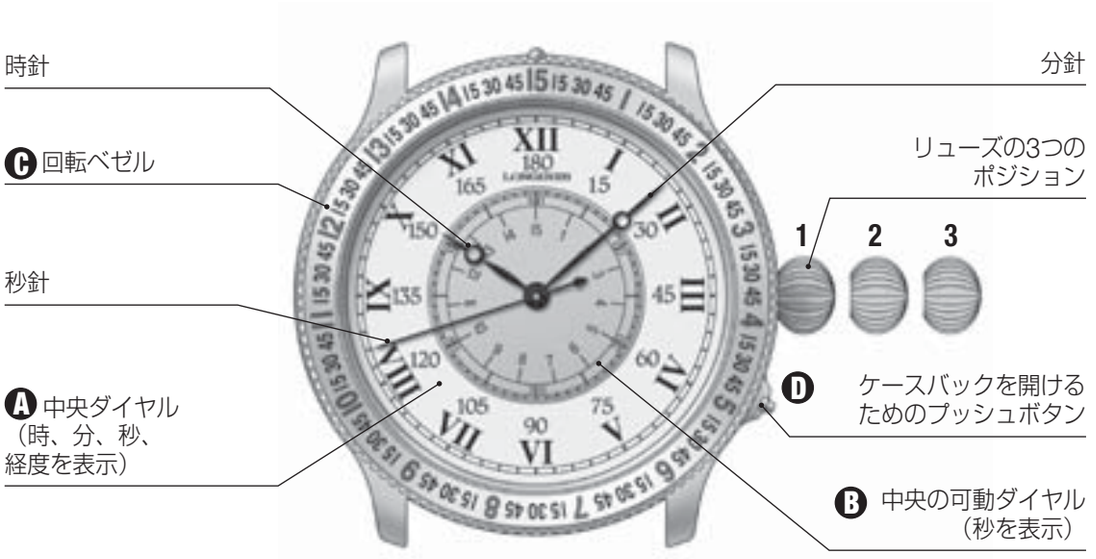
リューズ Ⓐ を緩め、ポジション**2**の位置まで引き出します。合わせたい日付が表示されるまでリューズ Ⓐ を手前に回します。リューズ Ⓐ をポジション**1**の位置まで戻し、しっかりと締めます。

DIVER ねじ込み式リューズ

潜水時間を確認する

DIVER リューズを緩めます。潜水開始時に両方向回転リングを回して、針が分針と同じ位置にくるように修正します。リューズを元の位置に戻し、しっかりと締めます（図②）。

潜水時間は、分針と両方向回転リングの目盛りで読み取ることができます（図③）。**この例では、潜水時間が15分間であることを示しています。**



L614 / L699-Lindbergh

ロンジンのThe Lindbergh Hour Angle Watchのオリジナルモデルは、チャールズ・リンドバーグがパイロットのための航法計器としてデザインしたものです。このウォッチを航行六分儀と航海図と共に使用することで、パイロットはグリニッジ・アワーアングル、つまり経度をすばやく計算することができます。

複数のダイヤルが独創的に組み合わされているため、普通の時計とは異なる3つの特徴があります。

Ⓐ 時刻（時・分・秒）と経度（度・分）を文字盤上に同時に表示します。

Ⓑ 中央の可動ダイヤルは秒を表示し、リューズでこの秒針を回して時報に合わせることができます。

Ⓒ 回転ベゼルにより（日々変動する）太陽時差を修正することができます。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

（593ページ参照）

時計を時報に合わせる

2の位置で、リューズを使用して中央の文字盤をいずれかの方向に回します。リューズをポジション**2**の位置まで引き出し、中央の文字盤を回して、秒針が時報の最後のピッという音で「60/15」の位置を示すようにします。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

4時位置のプッシュボタン Ⓓ

プッシュボタンを使って裏蓋を開き、保護ガラス（サファイアガラス）を通してムーブメントを見ることができます。

空間と時刻を組み合わせた文字盤の仕組み

The Lindbergh Hour Angle Watch のデザインは、地球が24時間で360度、12時間で180度、1時間で15度、1分間で15分アーク回転することに基づいています。

したがって次のようになります。

時針は1時間に15度動き、文字盤一周（12時間）が地球の自転180度に相当します。

分針は4分で1度、1時間で15度動きます。15度はそれぞれ4つの15分アークに分割され、回転ベゼルに目盛が記されています。

中央の秒針の一周は15分アークに相当します。内側の可動ダイヤルが60秒と15分アークに分割されています。

The Lindbergh Hour Angle Watch の使用方法

まずウォッチの時刻を時報に合わせます。例えば、時計合わせをしたウォッチが4時37分12秒を示しているとします。その日の太陽時差がマイナス4分50秒とすると：

ベゼルの「15」のボタンを左へ4目盛動かします。ケースの縁に刻まれた1目盛が1分を示します。

この状態を読み取ると：

秒針（文字盤センター）：		**3分**
分針（ベゼル）：	**10度**	**15分**
時針（メイン文字盤）：	**60度**	
ベゼルを4分だけ動かしましたが、 50秒も考慮しなければなりません （その日の太陽時差はマイナス4分50秒）。		
中央のダイヤルで、 50は12½の反対側にあります：	. /.	**12½分**
グリニッジ太陽時 **（現在地の経度）**	**70度**	**5½分**

L699-Weems

時、分、秒を備えています。中央の回転する文字盤は秒を示します。リューズを使用して、時計を時報に同期させることができます。秒、分、時の表示には影響しません。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

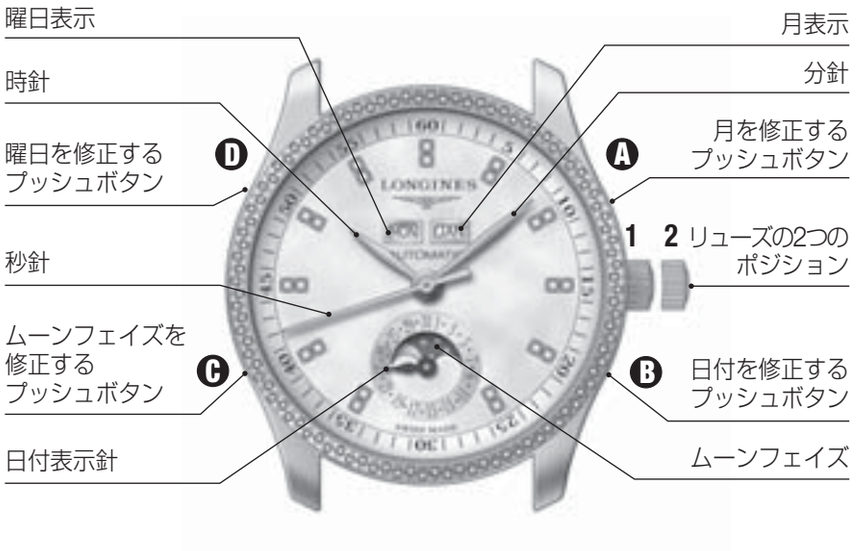
（593ページ参照）

時計を時報に合わせる

2の位置で、リューズを使用して中央の文字盤をいずれかの方向に回します。リューズをポジション**2**の位置まで引き出し、中央の文字盤を回して、秒針が時報の最後のピッという音で「60」の位置を示すようにします。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

プッシュボタン Ⓐ

これはケースバックを開けるためのもので、サファイアガラスによって保護されたムーブメントを眺めることができます。



L600
ムーンフェイズ

時、分、秒、日付、曜日、月、ムーンフェイズ表示を備えています。

リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

31日の日付表示針を修正する B

付属のツールを使用して、日付表示針が合わせたい日付を示すまでプッシュボタン B を押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

月の修正 A

付属のツールを使用して、合わせたい月が表示されるまでプッシュボタン A を押します。

重要：午後9時から午前3時の間は時計の修正をしないでください。また、午後3時から午後5時の間はプッシュボタンを使用してムーンフェイズを修正しないでください。いずれもムーブメントの故障の原因となります。

曜日の修正 D

専用ツールを使用して、合わせたい曜日が表示されるまでプッシュボタン D を押します。

ムーンフェイズの修正 C

専用のツールを使用して、ムーンフェイズが表示される開口部の中央に、満月が表示されるまでプッシュボタンを押し続けます。カレンダー等で最後に満月になった日をご確認ください*。最後に満月になった日から現在までの日数分だけプッシュボタン C を押してください。

** 月齢表に関しては、587ページを参照。*

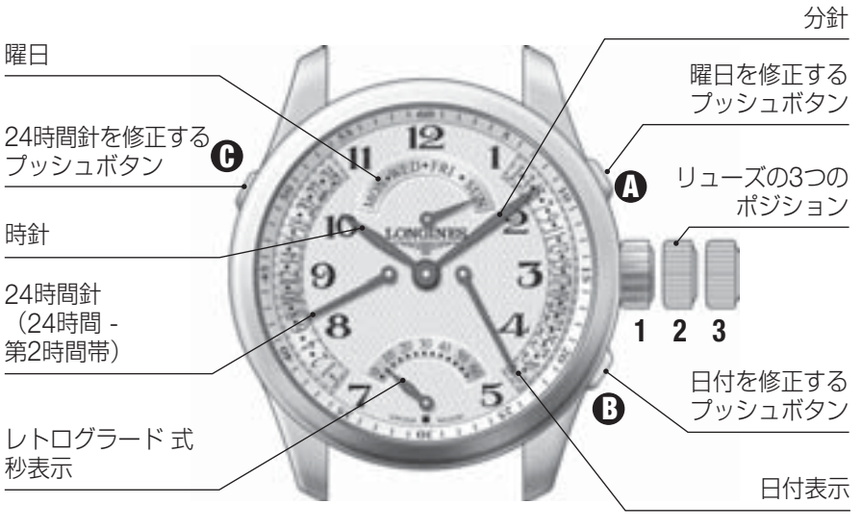
L697
3X レトログラード

時、分、秒、パワーリザーブ、レトログラード式曜日、日付、第2時間帯表示を備えています。

リューズの3つのポジション
（L697 - 698 - 707）

リューズを使用して、時、分、秒を修正することができます。さらに、これらに影響を与えることなく、曜日、日付、第2時間帯の時刻の修正が可能です。

パワーリザーブ表示（L697）は、時計が手動または腕の動きによって巻き上げられると、自動的に動作します。

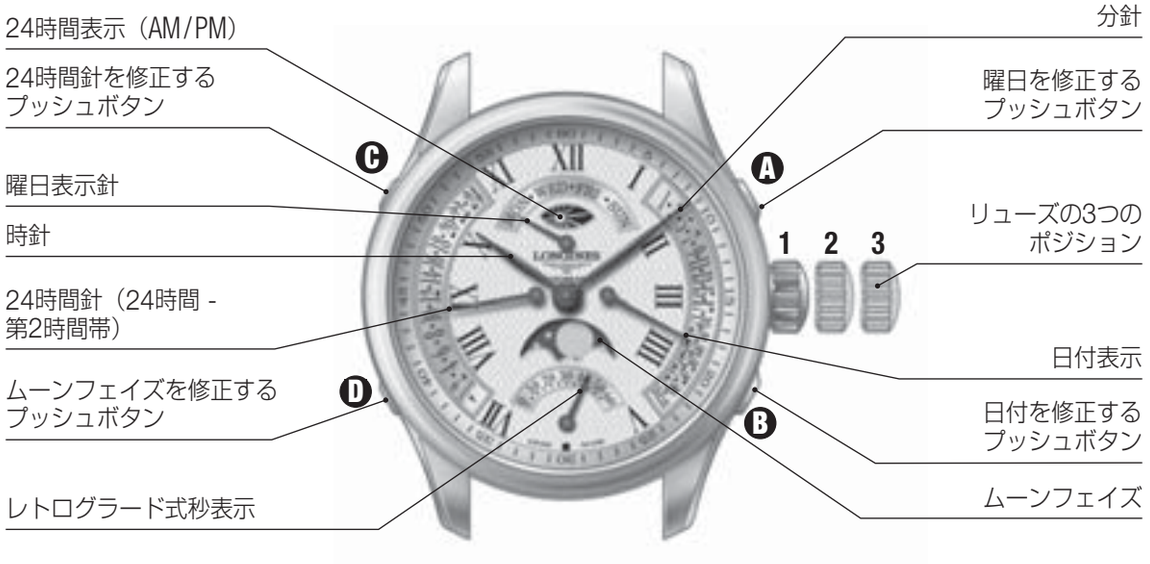


L698
4X レトログラード

時、分、レトログラード式秒表示窓、曜日、日付、第2時間帯表示を備えています。

時刻のセットと秒針の停止
（L697 - 698 - 707）

時計の時刻を電話やテレビ、ラジオの時報が伝える時刻に合わせるには、リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、秒針が60を指した時点で時報に合わせてリューズを元の位置（ポジション**1**）に戻します。時計の時刻が午前0時を過ぎると、その都度日付も変わります。
また、時針を修正する際に時計の時刻が午前0時を過ぎると、その都度第2時間帯の時刻ならびに曜日、日付も変わります。リューズをポジション**1**の位置に戻すと修正は完了します。リューズをポジション**3**の位置まで引き出すと、曜日、日付、24時間表示による時間帯を示す各針は、レトログラード表示部分の枠外に移動します。



L707
4X レトログラード

時、分、レトログラード式秒表示窓、曜日、日付、第2時間、ムーンフェイズ表示、デイ/ナイト表示を備えています。

時刻のクイック修正
（L697 - 698 - 707）

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。リューズをどちらかの方向に回します。時針は、分針や秒針に影響を与えることなく、1時間ごとに調節することができます。次に、リューズをポジション**1**の位置まで戻します。また、時針を修正する際に時計の時刻が午前0時を過ぎると、その都度曜日と日付が変わります。リューズをポジション**1**の位置に戻すと修正は完了します。リューズをポジション**2**の位置まで引き出すと、曜日、日付、24時間表示による時間帯を示す各針は、レトログラード表示部分の枠外に移動します。

時刻の修正（a.m./p.m.）
（L697 - 698 - 707）

文字盤は12時間に区切られていますが、日付と曜日は24時間ごとに変わります。つまり、時針が完全に2周したところで1日分だけ進むことになります。
日付と曜日が午前0時に変わるようにするためには、修正前にかならず次の操作を行ってください。

文字盤に表示されている曜日をメモします。

リューズをポジション**2（時刻のクイック修正）**の位置まで引き出し、時計回りに回して時針を1周させます。

リューズをポジション**1（巻上げ）**の位置まで戻します。

曜日が変わったことを確かめます。

曜日が変わっていたら、この時点で時計は午前（a.m.）の時刻を示しています。時計は午前を示していても、実際には午後である場合は、リューズをポジション**2（時刻のクイック修正）**の位置まで引き出し、リューズを回して時針を1周させます。

反対に、曜日が変わっていなかったら、時計は午後（p.m.）の時刻を示しています。時計は午後を示していても、実際には午前である場合は、リューズをポジション**2（時刻のクイック修正）**の位置まで引き出し、リューズを回して時針を1周させます。

リューズをポジション**1（巻上げ）**の位置まで戻します。

重要：リューズをポジション2または3の位置で操作するとき、文字盤上に変化は見られません。

24時間計：第2時間帯機能を使用しない場合は、この表示を24時間計として用いることができます。その場合、上記の操作は不要になります。「**第2時間帯 / 24時間針の時刻を合わせるには**」の項をご覧ください。

3つのプッシュボタンの機能 （L697 - 698 - 707）

3つのプッシュボタンは、リューズのポジションに関係なく使用できます。

曜日の修正

プッシュボタンⒶを押して、曜日を修正します。

重要：午後9時から午前3時の間は、日付を変更したり、プッシュボタンⒶ（曜日用）またはⒷ（日付用）を使用しないでください。故障の原因となります。

日付の修正

プッシュボタンⒷを押して、日付を修正します。

第2時間帯の時刻の修正（24時間針）

プッシュボタンⒸを押して、第2時間帯の時刻を修正します。分針、秒針に影響を与えることなく、時針を1時間単位で調節することができます。

例：現在ジュネーブ（自国時間）にいて、時刻は午前8時であるとします。日本時間はスイス時間よりも8時間進んでいます。

変更a：時計をジュネーブ時間および日付のままにしておきたい場合は、プッシュボタンⒸを押して、第2時間帯の時刻を修正し、24時間針が16（日本時間の午後4時）を指すようにします。

変更b：日本への旅行中に時計が現地の時間と日付を示すように修正したい場合は、リューズをポジション**2**で時計回りに回し、24時間針が4（日本時間の午後4時）を示すようにします。次に、リューズを元に戻します。第2時間帯は、午前8時（ジュネーブ：自国時間）を指したままになっています。

変更 a

L697

L698

L707

変更 b

L697

L698

L707

ムーンフェイズの修正 （L707）

ムーンフェイズが表示される開口部の中央に満月が表示されるまでプッシュボタンⒹを押し続けます。587ページの月齢表で最後に満月になった日をご確認ください。そして、最後に満月になった日から現在までの日数分だけプッシュボタンⒹを押してください。**午後3時から午後6時の間はムーンフェイズ機能が作動していないため、ムーンフェイズの修正は行わないでください。**

第2時間帯/24時間針の時刻を合わせるには (L697 - 698 - 707)

第2時間帯の時刻と自分のいる場所の時刻を合わせるには、プッシュボタンⒸを使用します。時計が止まっても、第2時間帯表示針で午前（a.m.）か午後（p.m.）かをすぐに見分けられます。

時刻の**クイック修正機能**（リューズはポジション**2**）を使うと、同期は解除されますのでご注意ください。

クロノグラフ

クロノグラフは、短い時間を計測する機器で、主にスポーツ、航空機の操縦、科学実験などで使用します。

コラムホイール

コラムホイール搭載のムーブメントは、その作動から伝達される明瞭な感覚が特徴的です。特に、プッシュボタンを押すと瞬時に反応があり、クロノグラフの用途以外にその操作感覚が好まれています。

タキメーター目盛

クロノグラフに施された目盛により、速度（時速）を読み取ることができます。
1km（または１マイル）の走行に要したタイムを計測する場合、平均時速は秒針が停止した位置に表示されます。1km（または1マイル）の走行に30秒を要した場合、目盛は平均時速120km/h（または120mph）を指します。

テレメーター目盛

クロノグラフに施されたテレメーター目盛により、観測対象の場所との距離を音速に基づいて計測することができます。

通常のクロノグラフ機能

通常のスタート/ストップ機能
ラリー加算（部分タイム）機能

通常のスタート/ストップ機能

競技のタイムを計る場合：

プッシュボタンⒶを押して、クロノグラフを**スタート**させます。
もう一度プッシュボタンⒶを押して、クロノグラフを**ストップ**させます。
プッシュボタンⒷを押してリセットし、ゼロに戻します。

ラリー加算（部分タイム）機能

連続したレースのタイムを、中間の休みを入れずに計ります。出た結果は前回の結果に加算されていきます。例えばいくつかのステージに分けられたカー・ラリーのタイムを計る場合、下記のようにしてください。

第一部のスタート時にプッシュボタンⒶを押します。クロノグラフが**スタート**します。

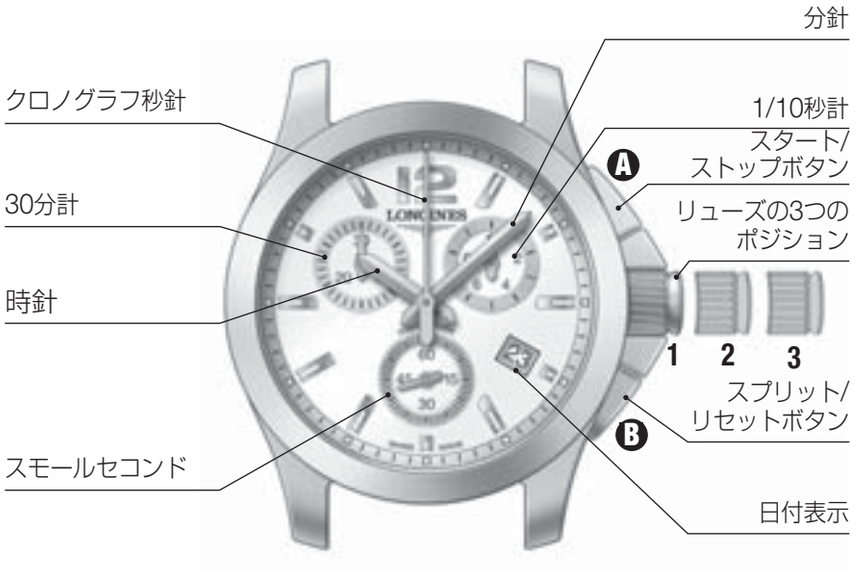
第一部の終わりに再びプッシュボタンⒶを押します。クロノグラフが**ストップ**します。

これを各部で繰り返してください。

ラリーの終了時には、クロノグラフはラリーの各部のタイムを加算したトータルのタイムを表示しています。

プッシュボタンⒷを押してリセットし、ゼロに戻します。

重要：クロノグラフ機能の使用中は、時刻の修正を行わないでください。



L538

L541

ロンジンのクォーツ・クロノグラフには、時、分、秒、日付表示を備えたキャリバーL538もしくはL541が搭載されています。

クロノグラフとして使用する場合、1/10秒単位で30分（cal. L538）または12時間（cal. L541）まで計測できます。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

（593ページ参照）

タイムゾーンと日付の変更

リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。時針は、分針や秒針に影響を与えることなく、両方向に動かすことができます。合わせたい日付が表示されるまでリューズを回します。日付は午前0時に変更されます。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。

通常のクロノグラフ機能

（608ページ参照）

重要：時刻表示機能に影響を与えるおそれがありますので、リューズを20分以上ポジション2のまま放置しないでください。

スプリット機能（中間タイム）

この機能は、単独の競技を計測するのに使用します。競技中の中間タイムが累積されます。

重要：時計が中間タイムを表示している間も、クロノグラフ機能は継続して競技の計測を行います。

例えば、競歩のタイムを計測する場合、スタート時にプッシュボタン **A** を押します。

プッシュボタン **B** を押すと、最初の中間タイムが表示されます。

もう一度プッシュボタン **B** を押すと、クロノグラフ針が計測開始時からのタイムに戻ります。

この手順を繰り返します。プッシュボタン **B** を押すと次の中間タイムが表示され、もう一度押すと再びクロノグラフ針が現在のタイムに追いつきます。

競技の終わりにプッシュボタン **A** を押すと、競技のトータルのタイムが表示されます。

プッシュボタン **B** を押してリセットし、ゼロに戻します。

備考：このスプリット機能（中間タイム）を使用すると、複数の競技者のタイムを連続して計測することができます。

ゼロ・リセット

何らかの理由でクロノグラフ針がゼロに戻らない場合は、次の操作を行ってください。

L538

クロノグラフ30分計：
リューズをポジション**2**の位置まで引き出し、プッシュボタン **A** を押します。

クロノグラフ60秒計：
リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、プッシュボタン **A** を押します。

クロノグラフ1/10秒計：
リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、プッシュボタン **B** を押します。

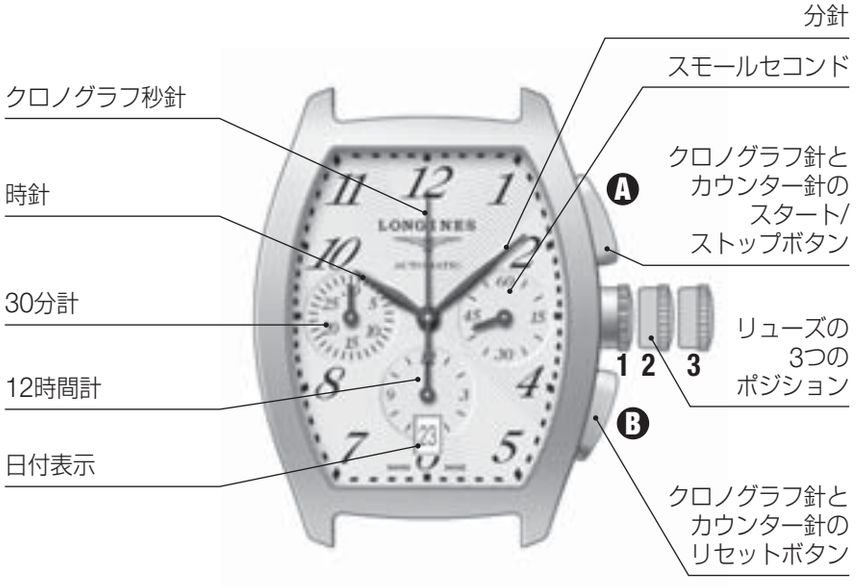
L541

クロノグラフ12時間計：
リューズをポジション**2**の位置まで引き出し、プッシュボタン **A** を押します。

クロノグラフ60分計：
リューズをポジション**2**の位置まで引き出し、プッシュボタン **B** を押します。

クロノグラフ60秒計：
リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、プッシュボタン **A** を押します。

クロノグラフ1/10秒計：
リューズをポジション**3**の位置まで引き出し、プッシュボタン **B** を押します。



L650

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
(593ページ参照)

日付のクイック修正
(593ページ参照)

通常のクロノグラフ機能
(608ページ参照)

L651

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、30分まで計測できます。

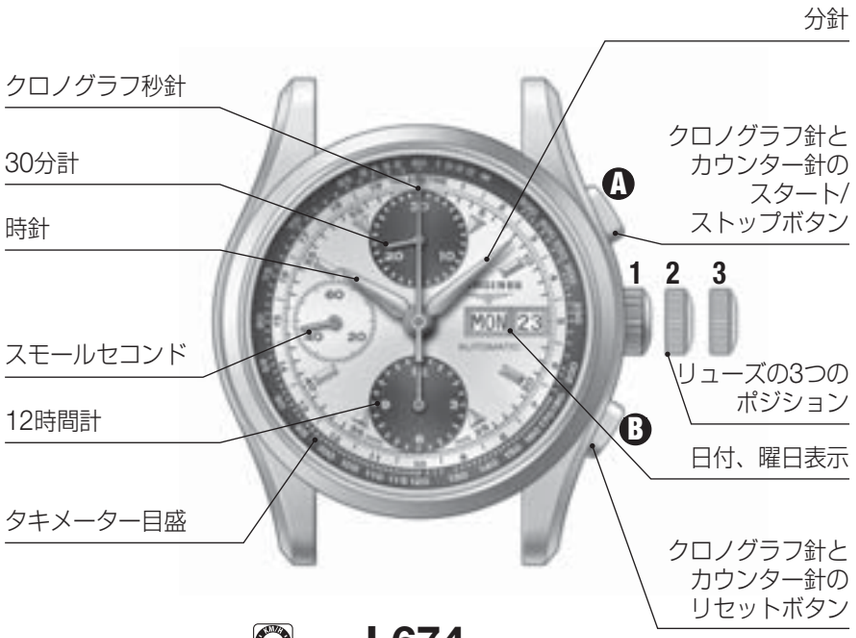
リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
(593ページ参照)

日付のクイック修正
(593ページ参照)

通常のクロノグラフ機能
(608ページ参照)

L667



L674

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。合わせたい日付が表示されるまでリューズを**手前**に回します。リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能
（608ページ参照）

時、分、秒、日付、曜日表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

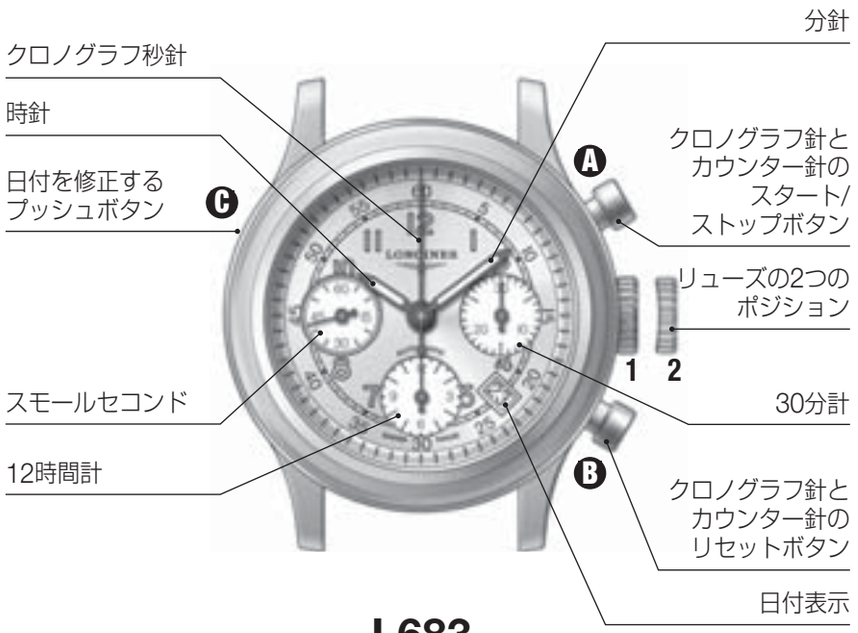
リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付と曜日の修正
リューズを中間のポジション**2**の位置まで引き出します。日付を修正する場合はリューズを**手前**（時計回り）に回し、曜日を修正する場合はリューズを**向こう側**に回し、その後リューズを完全に押し込みます（ポジション1の位置）。31日未満の月は、月末に日付の修正を行ってください。

通常のクロノグラフ機能
（608ページ参照）

タキメーター機能
（608ページ参照）



L683

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

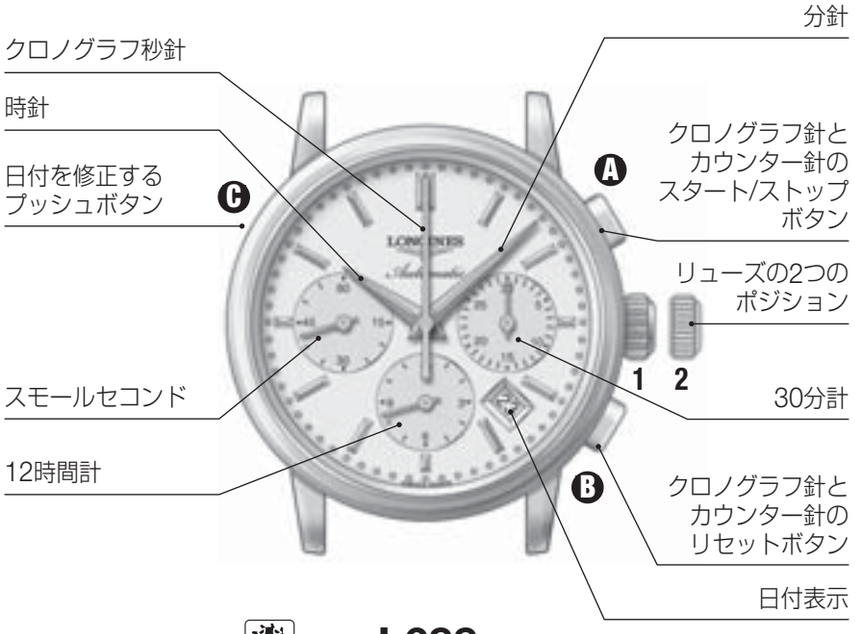
(593ページ参照)

日付のクイック修正

日付を修正するプッシュボタン C は、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能

(608ページ参照)



L688
コラムホイール

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

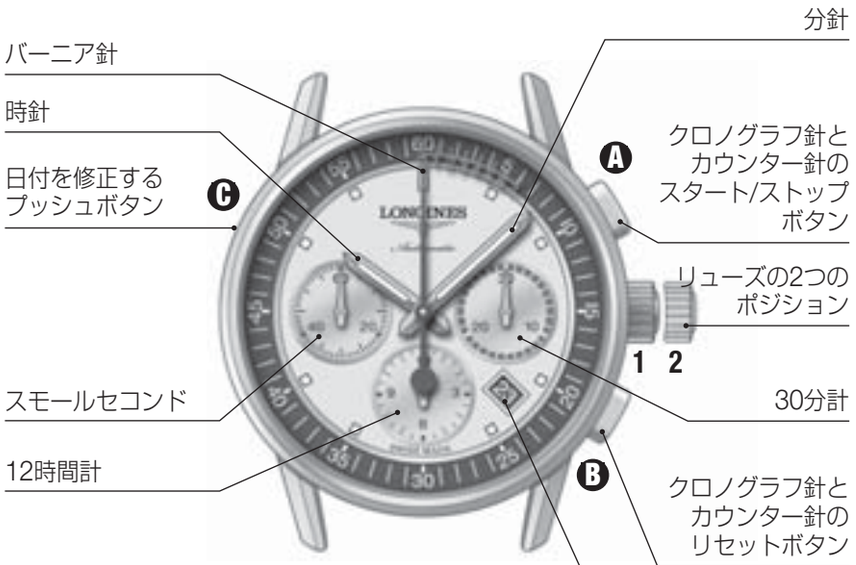
(593ページ参照)

日付のクイック修正

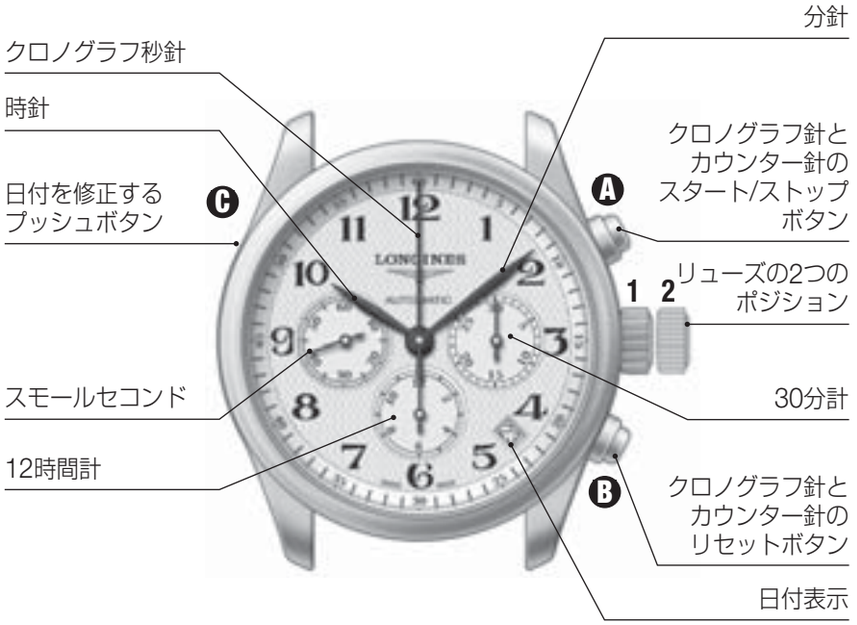
日付を修正するプッシュボタン C は、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能

(608ページ参照)



L688-バーニア
（レコード）



L696

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

中央の赤い秒針は文字盤上に固定された目盛りで秒を表示しますが、追加の目盛りにより1/8秒単位での読み取りが容易になっています。

リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

（593ページ参照）

日付のクイック修正

日付を修正するプッシュボタンⒸは、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能

（608ページ参照）

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止

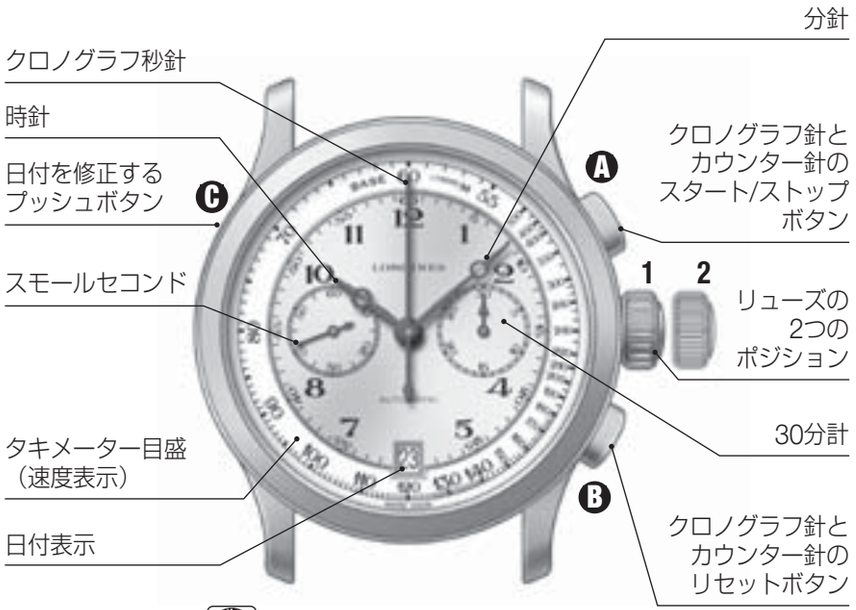
（593ページ参照）

日付のクイック修正

日付を修正するプッシュボタンⒸは、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能

（608ページ参照）



L705

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、30分まで計測できます。

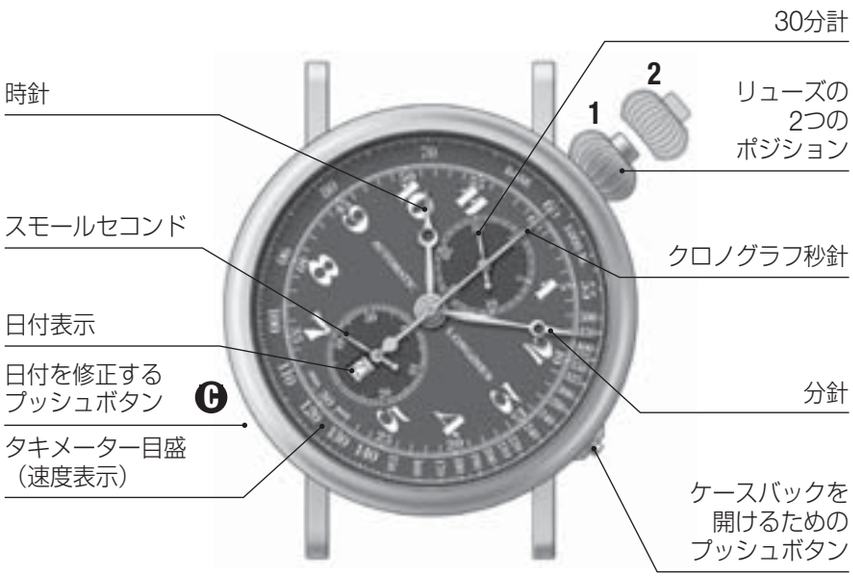
リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
日付を修正するプッシュボタンⒸは、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能
（608ページ参照）

タキメーター目盛
（608ページ参照）



L788
シングルプッシュ

時、分、秒、日付表示を備えています。1/5秒単位で、30分まで計測できます。

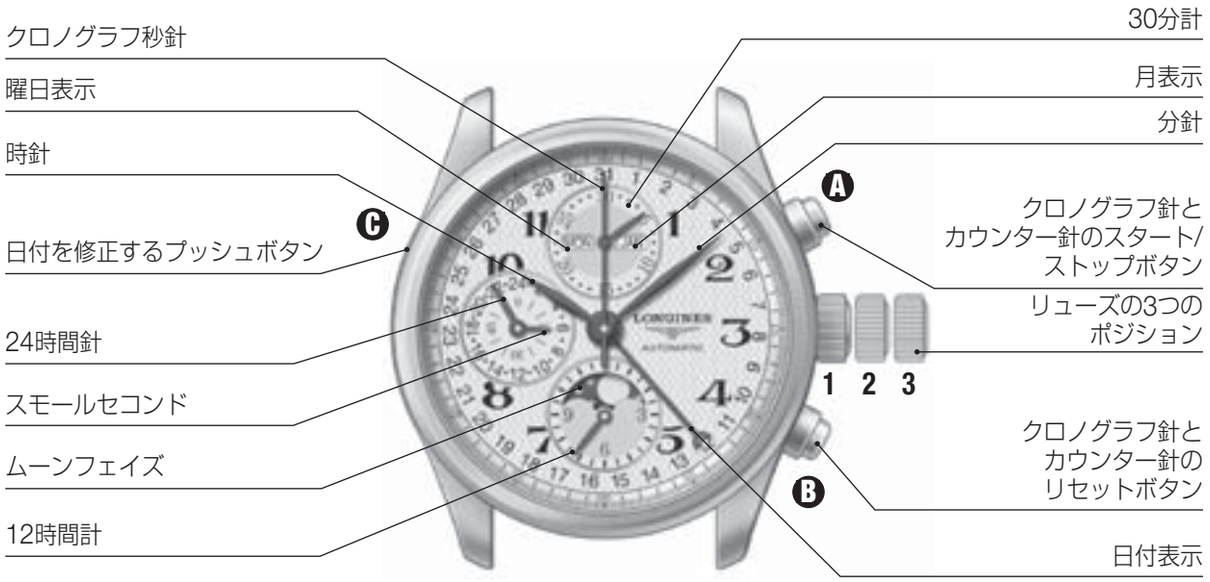
リューズの2つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
（593ページ参照）

日付のクイック修正
日付を修正するプッシュボタンⒸは、7時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい日付が表示されるまでプッシュボタンを押します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

通常のクロノグラフ機能
（608ページ参照）

タキメーター目盛
（608ページ参照）



L678
ムーンフェイズ

時、分、秒、曜日、月、日付、ムーンフェイズ表示を備えています。1/5秒単位で、12時間まで計測できます。

リューズの3つのポジション

時刻のセットと秒針の停止
(593ページ参照)

日付および月のクイック修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。**向こう側**に回して日付と月を修正します。次に、リューズをポジション**1**の位置まで戻します。31日未満の月は、月末に日付の修正を行う必要があります。

ムーンフェイズの修正
リューズをポジション**2**の位置まで引き出します。ムーンフェイズが表示される開口部の中央に満月が表示されるまで、リューズを**手前**に回します。月齢表*で最後に満月になった日をご確認ください。月齢表に記された位置が表示されるまで、再度リューズを手前に回します。

** 月齢表に関しては、587ページを参照。*

重要：日付およびムーンフェイズの修正は、午後7時から午前6時の間は行わないでください。故障の原因となります。

曜日の修正
曜日を修正するプッシュボタンⒸは、10時位置にあります。専用ツールを使用して、合わせたい曜日が表示されるまでプッシュボタンを押します。

通常のクロノグラフ機能
(608ページ参照)